

学校長あいさつ

みはま支援学校のホームページにお越しいただきありがとうございます。

昨年度に引き続き、校長をさせていただく植野 博之です。

本校は、昭和54年に開校し、今年度で42年目を迎えます。和歌山県日高郡美浜町にあり、県立自然公園「煙樹ヶ浜」の松林の中にある自然豊かな環境に恵まれた県内唯一の病弱教育を行う病弱支援学校です。

小学部から高等部までの児童生徒が在籍し、その内、国立和歌山病院に入院している児童生徒が所属する一学部の児童生徒は、13名。自宅から通学しながら、小学校・中学校・高等学校に準じる教育を受けている児童生徒は、41名、計54名が在籍しています。

本校では昨年度、本校の教育目標や学部目標を基に、生徒会や教職員でキャッチフレーズを作りました。そのキャッチフレーズは「安心できるこの場所で希望をつかもう 明るい未来に向かって」です。

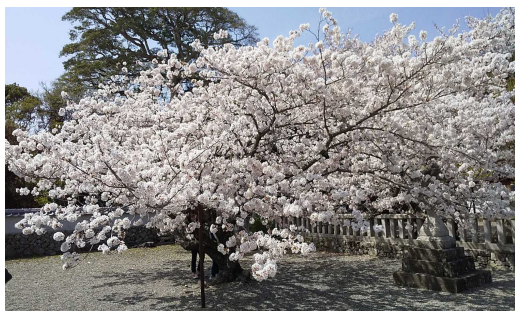
みはま支援学校が、子供達にとって安心できる場所で、自分を出せる 自分の想いや表現を素直に伝えられる そしてやってみたいこと、なってみたい自分に挑戦できる学校になってくれたらと思います。

その子なりの自立と社会参加を目指し、共生社会の実現へ向け、学校は保護者、地域、医療・福祉等関係機関と連携しながら、個々の持てる力や個性を伸ばし、意欲や主体性を育てたいと考えます。

また、県内唯一の病弱支援学校として県、地域でのセンター的機能を発揮し、病院、福祉等関係機関や地域と共に学び、高め合える学校づくりを図りたいと考えます。

令和3年度、まだまだ新型コロナウイルスと共に、様々な制約の中での学校活動ではありますが、ひとつひとつ節目を大切に、児童生徒が心豊かに和やかに、そしてたくましく前向きに成長して欲しいと願います。

今後とも、保護者の皆様や関係者、地域の皆様のご支援、ご理解、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。



令和3年 4月吉日

和歌山県立みはま支援学校
校長 植野 博之